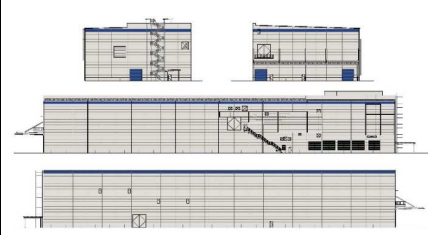


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アサヒ飲料明石工場 第3製造棟	階数	地上3F
建設地	兵庫県明石市	構造	S造
用途地域	工場専用地域、指定なし	平均居住人員	8人
地域区分		年間使用時間	8,640時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2024年10月 0.0	評価の実施日	2023年8月28日
敷地面積	194,531 m ²	作成者	向野岳
建築面積	4,680 m ²	確認日	2024年2月9日
延床面積	9,401 m ²	確認者	本間篤



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.7 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境品質 Q (0-100) vs 環境負荷 L (0-100) BEE = 1.0 (0.5 to 3.0) 0.7 is marked on the chart.	標準計算 ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+ 0 50 100 (kg-CO ₂ /年・m ²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです。	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 Score: Q1=2.5, Q2=3.2, Q3=1.7, LR1=3.5, LR2=3.3, LR3=2.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.5 音環境 2.6 温熱環境 2.0 光・視環境 2.0 空気質環境 3.8 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2 機能性 2.5 耐用性 2.9 対応性 4.4 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.7 生物環境 1.0 まちなみ 2.0 地域性・ 2.0	LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5 建物外皮の N.A. 自然エネ N.A. 設備システ N.A. 効率的 3.5 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3 水資源 3.4 非再生材料の 3.4 汚染物質 3.0 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.6 地球温暖化 N.A. 地域環境 3.1 周辺環境 2.1	Q のスコア = 2.4 LR のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 開口部を少なくし、外壁、屋根に断熱性の高い製品を採用することで消費エネルギーの抑制を図っている。	その他 なし	
Q1 室内環境 生産設備の稼働条件を満たす空調環境としている。	Q2 サービス性能 2階部分は将来増設予定の機械を含めて、生産ラインが配置可能な壁のない空間とした。	Q3 室外環境(敷地内) 既存の製造棟に奥行きを揃え、円滑な物流動線を確保している。
LR1 エネルギー 断熱性能の高い外壁、屋根とした。	LR2 資源・マテリアル 特段の配慮は行っていない。	LR3 敷地外環境 工業専用地域に工場立地法の規定に基づく敷地外環境としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される